

大盛況

「いわて公共建築フォーラム2007」～もっと身近に公共建築～

平成19年11月22日（木）、いわて県民情報交流センター アイーナ7階で開催した標記フォーラムの様子をご紹介します。

11月の公共建築月間イベントとして開催した本フォーラムは、一般県民や学生、建築に携わる関係団体など、来場者は200名を大きく超え、盛大に開かれました。

主催者を代表し、西畑県土整備部長が、「教育・文化施設や庁舎など県内の公共建築の多くは、昭和40年代から平成初期に建築され、社会資本整備をリードしてきました。今後は、それぞれの施設が、地域の人々の生活や街並み・景観に溶け込んでいくな、地域との連携が重要と考えております。

これまでの蓄積を活かしながら、岩手の地域づくりや岩手らしさの表現を、公共建築整備という観点から、さらに取組んで参ります。」と挨拶しました。



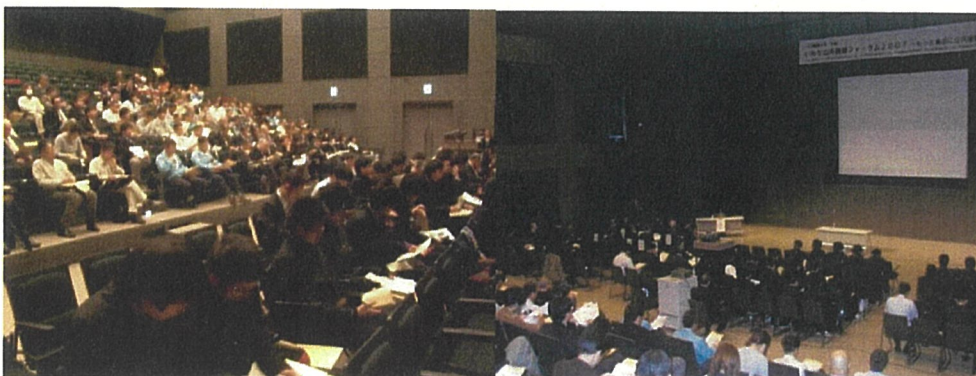
主催者代表挨拶 西畑県土整備部長



基調講演「魅力ある公共建築」～作品を通して～

(有)香山壽夫建築研究所 香山壽夫所長

第一部で、香山壽夫建築研究所の香山所長が「魅力ある公共建築～作品を通して～」と題し基調講演を行いました。この中で「身近な商店街も公共建築である。近代になって商店街はバラバラになったうえ、一ヶ所に集中し巨大化した。その結果、身近なものが次第に消えていった。これは、先進国が抱える共通の問題である。建築物は分断するのではなく、遊び・勉強などいろいろな用途を重ねていき、一つの空間を多くの用途に利用することが必要である。」と、自身が設計に携わった学校や市役所などをスライドで紹介しながら、地域の人たちとの関わり大切さを語られました。



会場風景



受付

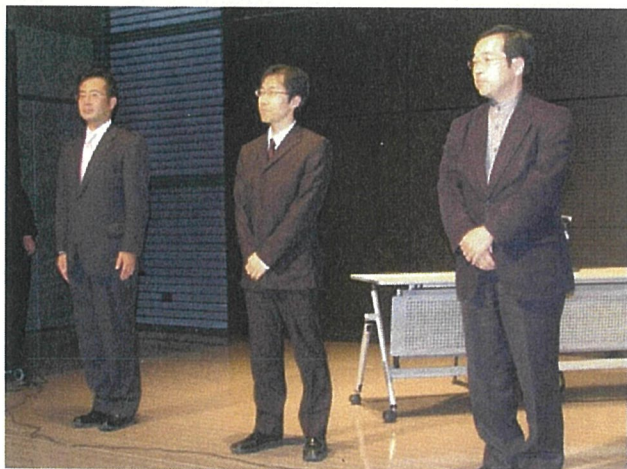
続いて行われた第二部では、建築住宅課の乙部技術副主幹兼主査が、「わがまちの誇れる公共建築」紹介と題して、県内の各地域の方々から寄せられた、公共性の高い建築物の写真とその建築物に対する応募者の想いを紹介しました。

県公会堂（盛岡市）や北上市文化センターさくらホール（北上市）、旧緯度観測所本館（奥州市）、県立二戸病院（二戸市）など、用途や建築年度に関わらず、その地域を象徴する作品、全 25 点を紹介しました。



「わがまちの誇れる公共建築」紹介
建築住宅課 乙部技術副主幹兼主査

第三部では、県内の若手建築士 3 名による「公共建築への想い」と題したリレー講演を行い、公共建築への想いやこだわり、工夫について発表されました。



リレー講演「公共建築への想い」を語った若手建築士
 (株)カクタ設計 角田 直樹 氏
 (株)久慈設計 小川 茂樹 氏
 (株)高橋設計 高橋 敏彦 氏



リレー講演風景

またアイーナホール前では、建築住宅課が「わがまちの誇れる公共建築」をテーマとして県内各地域から募集した写真とその建築物に対する想いをパネルにした写真展と、(社)岩手県公共建築設計監理協会の会員が手がけた「公共建築」をテーマとした作品展を開催しました。

皆さん興味津々に作品を眺めておりました。



アイーナホール前
写真・作品展示状況



「わがまちの誇れる公共建築」写真展



「公共建築」をテーマとした会員作品
(社)岩手県公共建築設計監理協会